

鳳凰山山行報告書

(山域) 南アルプス前衛：鳳凰山

(コース)

2/25：夜叉神登山口～夜叉神峠～杖立峠～火事場跡～葎平～南御室小屋

2/26：南御室小屋～薬師岳～観音岳～南御室小屋～火事場跡～杖立峠～夜叉神峠～登山口

(日時) 2月25(土曜日)～2月26(日曜日)

(天候) 2/25 快晴(微風)・2/26：快晴(微風)

(参加者) CL：内堀(記録)・SL：澤田淳・江橋・小宮山

(山行タイム)

2/11：登山口 8:00～夜叉神峠 9:00～杖立峠 11:10～火事場跡 12:20～葎平 13:35～小屋 14:25

2/12：小屋 6:55～薬師岳 8:35～観音岳 9:05～小屋 11:10/11:50～火事場跡 12:50～杖立峠 13:40
～夜叉神峠 14:45～登山口 15:40

(山行報告)

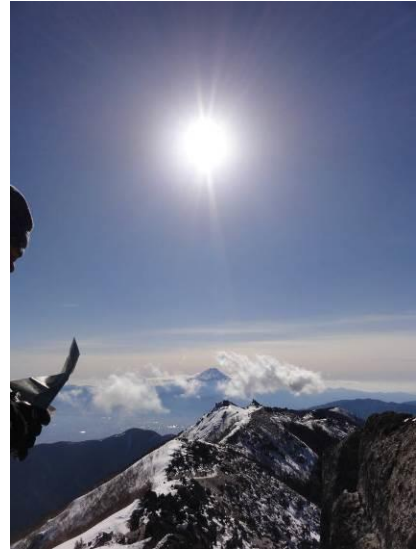
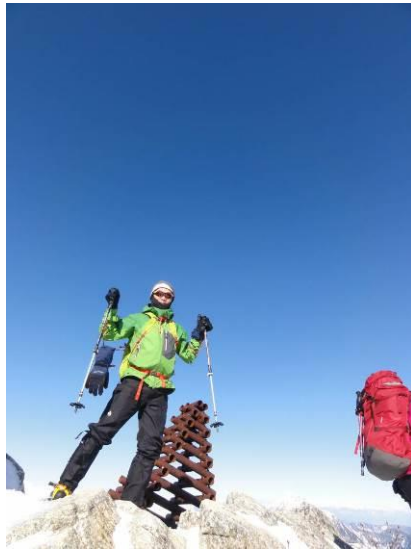
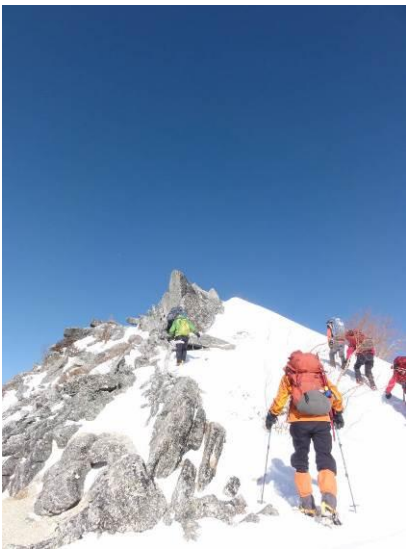
2/25

金曜日の夜、私の車にて江橋宅→澤田淳宅→小宮山宅を經由して、貝塚ICより首都高・中央道を進み、甲府南ICで降りた。途中コンビニに寄り朝食・行動食を購入する。道の駅「しらね」に到着して TENT を張り軽く宴会をして、仮眠する。ここは車の通りが激しく結構音がしていた。私はこの音も関係なく就寝出来たようである。早朝、5:30 頃起きてお湯を沸かし朝食を食べて、出発の準備をする。本日意外と暖かく寒さはあまり感じない。準備後は車を飛ばし、芦安温泉経由で夜叉神ゲート手前を目指す。芦安温泉からは高度を一気に稼ぐ。ゲート前に到着するものの車が多い事に驚いてしまう。30 台近くありました。空いている場所に駐車して、登山準備を行う。他の車では我々と同様に準備を行い、登山口より出発していた。我々も出発準備が整った後は、早々に出発する。登山口は雪が無い、進むと所々に凍りついた登山道が表れ、よけながら進む。更に 30 分過ぎた辺りから登山道に雪が付いていた。アイゼンは装着せず、進むと 1 時間で夜叉神峠に到着する。目の前に白峰三山(北岳・間ノ岳・農鳥岳)が飛び込んでくる。南アルプスの中でひと際、白く見える山である。3,000m 峰が連なる壁である。見事である。

休憩と景色を堪能した後、重いザックを背負って出発する。ここから杖立峠までは急登である。一步一步進むが、途中氷の斜面が表れ、アイゼンを装着して再出発する。アイゼンの効きが良くドンドン高度を稼ぐ。途中休憩を挟み、杖立峠をスルーして先を急ぐ。夜叉神峠以外は樹林帯の中でただ歩くのみである。ようやく、眺望が得られたのは火事場跡である。ここで、白峰三山をバックに記念撮影をする。最後のひと踏ん張り葎平に到着する。日当たりは悪く冷たい風が吹き、寒さを感じる。休憩後は小屋まで下降する。予定通り小屋に到着するが既に 5 張程度ある。夕方になると次々と小屋に集まり、10 張程度あった。人声は意外と通り、僻地と思えない活気に包まれていた。我々はザックを降ろし、スコップでテンバの整地に取り掛かる。ある程度出来た所で TENT 入れるがまだ足りず、進めるが、水場の状況と開栓があるか女子に頼むが、かなり深いためスコップが必要のことで、スコップが無くなり、足で整地を進めるが中々、出来ない。少し時間がたったところで水場が出たとの事から、スコップが戻り一気に整地が進められた。TENT を設営後は中に入り、身支度を進める。ダウン上下・ゾウ足を履いた時にはホッとする。ガスに火を付けお湯を沸かし、食事の準備を進める。部屋が温まった頃にコンブにビールを注ぎ乾杯の氣勢を上げる。冷たいビールが美味しい。鍋・ご飯が出来上がる頃、外は薄暗くなり始める。4:00 過ぎに次々と人声が聞こえ、TENT が増えて行く。賑わっている。食事をする頃にはすっかり酔いが回り、山談義に声も上がりボルテージMAXへ、注意されない様、トーンを少しずつ下げ周りに溶け込む。食事後もガスを付け歓談が続くが、そろそろ寝袋へ準備を済ませ、入る話をするものの 1 分も経たない内に、話の途中で就寝してしまった。満点の星空を見ることもなく朝を迎える。

早朝 5:30 頃起床して食事の準備を、ガスに火を付け昨日の鍋の残りにご飯を入れ、雑炊にして食べる。食事後は着替え登山準備を済ませ出発となるが、朝は結構冷え込みで中々捗らない。トイレに行きようやく出発となり、昨日とは違い軽いザックで進む。いきなりの急登も難なく登り続ける。朝の冷え込みからアイゼンの効きが良く踏み抜きは殆どない。1 時間程度で薬師小屋手前の稜線に出られ、一本休憩を入れる。岩の合間から白峰三山が雄大に迫ってくる。休憩後は薬師小屋を過ぎ、薬師岳に到着するものの、まずは観音岳を目指し進む。稜線歩きは気持ちの良いものである。稜線沿いでも微風である。春山のような陽気。観音岳に向かう稜線沿いの左側は切れ落ち高度感がある。白峰三山を横目に見ながら進むと、更に先には仙丈岳が美しい姿を現す。意外と近くに見えるが観音岳が近づいてこない。観音岳手前でおばちゃん 4 人グループを抜かす。かなり遅いスピードで上がっている。足が上がっていなさそうである。山頂でお話したらテントを担ぎ上げ、地藏岳を抜け御座石温泉に下るとの事。元気の良いおばちゃんでした。山頂ではそのおばちゃんに集合写真を交互に撮り合い。無事儀式は終了。観音岳に来ると、甲斐駒岳・ハケ岳・右に浅間山、左に北アルプス・乗鞍岳・御嶽山・中央アルプスと一望できる。360 度ビューポイントである。地藏岳のオベリスクは一目でわかる。鳳凰三山の周回は車の回収を考えると費用高である。今度は御座石温泉より地藏岳に登りに来ようと思った。景色を堪能した後は、下山開始して薬師岳を目指し記念撮影を済ませ、最後に白峰三山をバックに 1 枚・1 枚と撮り重ねる。名残惜しいが、稜線歩きはここまで、この先は、薬師小屋まで下がり、そこからは樹林帯の中に吸い込まれ、意外と早く南御室小屋に到着する。隣のソロのおじさんは上半身裸にして甲羅干ししている。焼けそうである。それを横目に帰り支度を進め、最後にテント撤収してザックにしまう。お昼前であり予定通り。苅平まで軽い登りであるが、順調に進め休憩を取らず歩くこと、1 時間程度で火事場跡に到着。ここの景色を見ながら休憩タイムである。休憩後は杖立峠まで下降するが、杖立峠手前で登りがあり疲れが倍増する。2 本目の休憩を取り、気を取り直し夜叉神峠に向け下降するが、ここから雪が少なくなり、氷と雪面・地面を交互に出てくる。歩き難い。夜叉神峠に到着した時には、あと 1 ピッチと思い下山するが、半分進んだ頃、雪が忽然と無くなり、進むと雪が表れるとの間隔が出て来て、最後にはアイゼンを外し登山靴で下山する。氷の登山道を避け転ぶことなく無事、夜叉神登山口に到着した時には、ヤレヤレホッとして、全員握手して終了宣言。これから登ると思われるおじさんから、山頂は雪があるのか、アイゼンは必要か？寒いかと矢継ぎ早の質問攻め攻撃、全て必要です。寒さ対策も必要と回答。車に乗り込み林道を下り、天恵泉白根天笑閣にて温泉でさっぱりする。ここの温泉は鉱泉であり、源泉は冷たかった。入浴後は時間もないため、甲府昭和 IC を目指し中央道に入ると、八王子手前 100 分の渋滞情報がある、何で今の時期に中央道で渋滞があるのかと思い、確認すると事故渋滞であった。夕食まだである、車の中では食べ物の話に盛り上がり、余計お腹が空いてくる。上野原辺りから渋滞から続き八王子 JCT 手前で渋滞は解消された。1 時間程度余分に掛ってしまった。石川 PA にて夕食を食べて、一路千葉へ向かい、来た時の逆の順番に小宮山宅→澤田淳宅→江橋宅と自宅に到着したのが 22:45 頃になってしまった。片付けをせず寝られない為、シュラフ・カバー・アウター等を乾かし、来ていた服を洗濯機に、アイゼン・スパッツを洗い、ようやく寝床に付く。今回、白峰三山を見ながらの雪山登山はことのほか、楽しい山行となった。昔行った北岳がまた、今年登りたい物だと思いが強くなった。







以上